

平成 30 年 第 11 回 国家資格キャリアコンサルタント試験

(キャリア協) 実技試験 (論述) 解答例 (中里)

※今回のテーマは「ワークライフバランス」ですね。ワーク「仕事」と、ライフ「家事、育児」の両側面から、相談者にどのようなサポートができるのかについて考えていくことが、問題を解くヒントになります。

【設問 1】 逐語の空欄 A で、キャリアコンサルタントとしてあなたなら CL1 の発言を受け、どのような応答をするか記述せよ。(10 点)

「復職したら、今まで休んだ分まで頑張りたいと思う反面、保育園への子どもの送り迎えや急な発熱等の呼び出しなど心配になり自信がなくなってきましたですね。自信がないとはどういうことに対してでしょうか？」

【設問 2】 キャリアコンサルタントとして、あなたが考える相談者の「問題」を記述せよ。(10 点)

「復職後は、仕事では周りに迷惑をかけないように頑張りたいと思うと同時に、家事、育児に関しても一人で頑張らなければというように、復職後の働き方について確認せず、子育てに関しても誰にも相談せず自分一人で抱えて不安になっていること。また、今ここでの問題に巻き込まれていて、ワークライフバランスの視点に立ったマネープランを含めた中・長期的ライフキャリアプランが描けず不安になっていること。」

【設問 3】 この事例の展開に関し、以下の問いに答えよ。(30 点)

(1) Z さんに対しどのような提案を行うか。逐語の空欄 B に入る、あなたが考える提案の要点を 2 つ記述せよ。

- ① 「短時間勤務制度など、会社の子育て支援制度」
- ② 「家族の子育て分担の再考や地域の子育て支援」

(2) 設問 3 (1) で解答した 2 つのうちいずれかを選択して、キャリアコンサルタントとしてあなたはこの面談で、この後どのような働きかけを行うか、具体的に記述せよ。

① のケース

子育ても仕事も頑張りたいという姿勢を支持し、まずは、復職後の仕事に関する情報（部署や仕事内容、勤務時間等）について会社に確認し、併せて、会社での子育て支援制度について人事などに確認してはどうかと促す。短時間勤務制度やフレックスタイム制度等があれば、それをもとに復職後の相談者の一日のスケジュールを作成し、無理のない働き方について上司や人事に相談するよう勧める。また、夫や義母と、家事や子育て分担について話をする機会を持ち、マネープランを含めた中・長期的ライフキャリアプランと一緒に作成してみてもどうかと提案する。今ここでの問題にのみに目を向けるのではなく、無理のない長期的な働き方を視野に入れ考えることで、相談者の復職への不安を軽減できるよう支援する。